

【異物混入】 児童自立支援施設の給食に糸状の金属片混入事故（鳥取県）


6月2日、鳥取県は、県立の児童自立支援施設で出された給食に、糸状の金属片が混入していたと発表しました。食べる前に気付いたため、子どもへの健康被害はありません。

県家庭支援課によりますと、5月29日、米子市の県立喜多原学園の昼給食で、子どもがご飯をよそった際に、長さ約1センチの糸状の金属片を見つけました。

調査の結果、前日の後片付けで、焦げた釜を洗う際に使った金入りスポンジの破片が誤って混入した可能性が高いということです。金入りスポンジは委託業者の調理員の私物で、今後は委託業者が定めたものを使用するよう確認したということです。

（引用転載：Yahoo!ニュース 2023/6/2(金) 17:59BBS 山陰放送配信 より）

**HACCP 認証を受けた食品工場用の衛生管理ブラシを使用しましょう。
衛生管理ブラシは、耐久性があり洗浄効果が確認されています！**

上記の事故では、子どもが喫食前に混入した金属片を発見できたので、健康被害が起きなかった事は幸いでした。誤って食べてしまえば、口内や食道などへの怪我につながる危険もありました。以下は、上記の金属片の混入事故の内容を元に、衛生管理ブラシを使用した再発防止対策を紹介します。

原因の推測

問題となった事象	推測される原因
金入りスポンジの使用による金属片の混入	① 調理員への清掃マニュアルの周知と運用が十分でなかった
	② 現場で用意されていた清掃用具では釜の焦げを十分に取り除けなかった
	③ 現場の状況について委託業者内で報連相ができない環境であった可能性がある

対策案

原因②「**現場で用意されていた清掃用具では釜の焦げを十分に取り除けなかった**」について対策を考えてみましょう。

▼ 食品製造現場に合った適切な清掃用具を選ぶポイント

POINT 1：HACCP 認証を受けた食品製造業向けの「衛生管理ブラシ」を選択する。

POINT 2：ブラシメーカーと相談し、釜の焦げ落としに適した清掃マニュアルの作成や実施状況を確認する。

提案する清掃用具

バーキュートプラス ボードブラシ


選択する理由

- ・食品業界向けに開発・販売され、**食品衛生法に適合**している HACCP 認証の衛生管理ブラシである。
- ・持ちやすくコンパクトなサイズで手の小さな方でも使いやすい。
- ・毛腰の硬さもちょうどよく、**釜の焦げや乾燥した米粒などの頑固なこびりつき汚れ**は落とすつつ、釜を傷めない。
- ・**ブラシの色は5色展開**しており、異物混入時も目視で発見できる。

(株)バーテックでは、このような事故の予防のため、食品製造業向けのブラシの提案だけでなく、現場の作業から普段の清掃作業で求められている結果を得られているかなどを聞き取り、清掃マニュアルをはじめとする食品製造現場の衛生管理レベルの向上をお手伝いしています。

まずは、弊社営業担当者、またはメールアドレス（ is@burrtec.co.jp ）までご相談ください。